

光岡寺報

2011年 4月

〒679-2323 兵庫県神崎郡
市川町甘地 384

後藤明照、由美子(惟蓮)

T&F 0790-26-0162

メール kouenji_dayo

@nifty.com

<http://kouenji-hou.com/>

通信費年間1000円

唯祢仏

仏教徒宣言(その八十八)

東日本大震災の被害は、地震・津波の巨大なダメージの上に、原発事故の放射能漏れと、自然災害から人災の様相を現わしています。一ヶ月が経とうとしている今も福島原発から常に放出され続けている、新たな放射性物質による被曝の危険性によって、行方不明者の捜査が難航しています。特に原発周辺の避難指示区域は、放射線量が高いため捜査が出来ないままだったのが、七日から防護服を着け放射線量を測定しながら始まったようです。一日も早く行方不明者が見つかり身元確認が出来るよう願うばかりです。

「想定外」という言葉が飛び交いましたが、すべて想定され、警告されていた事故で、ただ想定しなかっただけという指摘もあります。この放射性物質の問題は、原発建設を始めた当初からの課題でした。だから、電力会社も政府も「原発は安全です」という「安全神話」を唱えてきたのです。以前の「コーシヤルでは「五重の壁」で放射能漏れを防ぐために、安全に安全を重ねています。と流れていました。そして事故の時の三原則として「止める」「冷やす」「閉じ込める」はずだったのですが、地震・津波・外部電源遮断・非常電源遮断・発電機の使用不可と、「五重の障壁」で、三原則が機能不全に陥り、漏らしてはいけな放射性物質を大量に今も、現に漏らし環境に放出し続けています。原発から放射能が「漏れないから安全」が「漏れても安全」「ただちに健康に被害が無いから安全」に変わってしまいました。これを見ても政府、安全委員会、電力会社への不信は募ります。何としても信頼して待っている被災者に公的な援助を届けてほしい。間違っていることは認め方向転換してほしいと切に望みます。

今回の大震災以降、放射能の被害に怯えながら私たちが造り出している世界が「三悪道」です。放射能によっていのちを傷つける地獄、自分の生活維持に必要以上に買い漁り、買い占める餓鬼、思考停止してしまい流れる情報に身を委ねてしまう畜生と… 私たちは何時でも、六道という境界に陥ってしまいます。このような状況を作りだしたのも、便利で快適で明るく住みやすい生活、人間の都合を追い求めて来た事であり起こった事故です。

その意味で今の生活をどのようにシフトして行くのかのヒントになるのが「無三悪趣」の願です。私に願われている「本願」です。たとえ今被害のなかつた地域の「天」にいる私たちにも「このままではだめだ。何とかしなくてはならない」という「まことの心」として本願がはたらいて来るのでしよう。被災地の人たちや救援活動をしている人、原発敷地内で命がけの作業をしている人たちは、ぎりぎりの生活をされながら人のつながりを築き、その中で人間の尊厳を保とうとされています。その人たちにつながる心としてはたらくのかもしれない。そしてそのまことの心より呼び覚まされるのが、この世界をこしらえてしまった私の罪への自覚です。

それを「涅槃経」には「二つの白法あり、よく衆生を救(たす)く。一つには慙(ざん)、二つには愧(き)なり。」として、慙は自ら恥ずかしいと思うことであり、人に羞(は)ず、愧は犯した罪や邪な心の内を隠さず明らかにし告白することで、天に羞(は)ずとあります。「これを慙愧と名づく。無慙愧は名づけて人とせず。」この五濁・悪時・悪世界を造り出してしまった事に気付かさせられる処から歩みは始まるのです。

南無阿弥陀仏

釈明照

真宗大谷派(東本願寺) 宗務所災害救援本部より

被災地向け食料品

お米・レトルト食品の調達

にご協力ください!

地震発生から日が経つにつれ、甚大な被害の実態が明らかになりつつあるとともに、避難生活を送っておられる方々の窮状も刻一刻と状況が悪化しています。

現地救援本部(仙台教務所)や、救援活動を行ってきた職員の話によりますと、被災地では圧倒的に食料品が不足しているようです。調理に手間のかからないカップ麺やレトルト食品が、特に必要とされています。

しかし、この京都であってもこれらの食料品は購入制限や品薄といった状況となっており、宗派災害救援本部のみでは十分な救援物資を確保することが困難です。

そこで、皆様にお願ひがあります。皆様の地元から、こうしたカップ麺やレトルト食品、そして主食であるお米(白米)を、宗派災害救援本部までお送りいただけませんか。郵便、宅配事業は混乱しており、現地へは本山から直接トラック等で届けるのが、最も確実な方法です。皆様からお送りいただいた食料品は、宗派災害救援本部が責任をもって被災地の皆様にお届けいたします。

皆様の懇ろなるお志を、心よりお待ち申し上げます。参拝接待所に、直接ご持参いただくか、本山災害救援本部までお送りください。なお、お届けいただくにあたって、物資の集約・搬送と現地での取り扱いを考慮して、特にお米については最大10キロ程度に小分けしてお届けいただきますようお願いいたします。

送り先 T0000000 京都市下京区烏丸通七条上る
真宗大谷派宗務所内 災害救援本部 TEL 075・371・9181

